

千葉動力労組

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

89.12.11 No.130

動労千葉結成10周年!

久留里線全線復活の闘い 木更津拠点の闘い

十一月三〇日第二波
検修につづき
全乗務員がストに

木更津支部は、第二波
一一・三〇検・修日勤者
のストに続き、いよいよ
JR体制後初の運転部門
(全乗務員を対象とした
ストライキ)へ突入した。

はじめは久留里線が
ストで二四時間止まる

二月四日一八時敢然
と庁舎前で開催されたス
ト前夜総決起集会の中で
決意表明に立った斎藤支
部長は、『今日運転保安
は末期的な状況になって
いる。その原因の種をま
いているのは、全てJR
当局の安全問題を放棄し
た姿勢と、それを率先協
力するJR総連との野合
によって形成されている。
今次一一三波ストの持つ
ている意味はあまりにも
重要であり、国鉄労働運
動総体を大きく揺り動か
す中心軸となるものであ
って、来年の二―三月を

中心とした清算事業団闘
争と「九〇・三ダイ改」
阻止闘争へと、この闘い
を結合させる中から、反
合・運転保安を確立させ
る必要がある』ことを明
らかにした。スト前夜は、
自からの職場を守り抜き、
整然と全乗務員がストへ
突入、五日に開催したス
ト突入集会では、結集し
た組合員が次々と発言し
とりわけ意気も高くスト
突入者が「久留里線関係
としては、一〇〇%全列
車を止めた」成果を確認
したのである。

木更津支部は
さらに総決起する

木更津支部は、今冬か
ら来春へ、さらなる第二
弾、第三弾の闘いへと、
全支部あげて総決起する
ものである。

動労千葉の牽引車として

津田沼支部第十二回定期 大会開催される

十二・五ストライキを
目前にひかえた十一月二
七日、津田沼支部第十二
回定期大会が開催された。
大会は、議長に津田沼
支部の被解雇者である椿
さんを選出し、議事が進
められた。

支部執行委員長あいさ
つにたった浜野支部長は、
「この一年間、津田沼支
部は、ほとんどの執行部
が解雇され、清算事業団
に送られるという困難な
状況をうち破って、新た
な執行部で闘いを進めて
きた。JR当局は、いま
た津田沼支部破壊の攻撃
にできてきている。運転保
安確立のために、不当な
差別・処分を粉砕するた
めに、そして清算事業団
の高石さんや、十一名の
解雇者を奪いかえすため
に、十二・五ストライキ
に総決起しよう」と訴え
た。

その後、来賓として、
本部中野委員長、田中書
記長、津田沼支部から強
制配転され、各所でごん
ばっている清算事業団支
部高石さん、京葉支部鈴
木さん、総武支部関さん
から激励のあいさつを受
け、総括および方針の提
起がおこなわれた。

討論では、信号が異常
現示をするなど、ATS
IP型工事の問題点、士
職の選別登用問題、スト
生活基金など活発な意見
が出された。闘う方針決
定後、新役員を選出、古
川執行委員の朗読する大
会宣言を満場一致採択し、
大成功のうちに大会を終
了した。

一九八九年度新役員

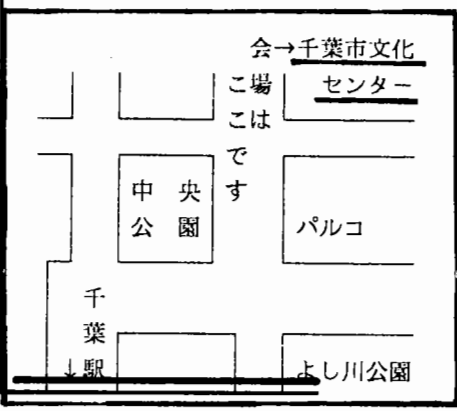
- 支部長 浜野善弘
- 副支部長 小倉邦夫
- 書記長 荘司 仁
- 執行委員 古川政史
- 久野幸男
- 結城敏之
- 福島勝之
- 福田浅光
- 岩瀬利幸

第二一回定期委員会

【日時】 十一月十八日(土) 十二時

【場所】 千葉市文化センター

ストライキ闘争の総括と
来春の事業団闘争の方針を
論議する大切な委員会です
傍聴に全力で集まろう!



全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!